

船舶事故等調査報告書

平成26年2月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第179号
事故等種類	衝突（岸壁）
発生日時	平成25年8月22日 06時49分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市水島港 水島港西1号防波堤灯台から真方位010° 2.7海里付近 （概位 北緯34° 30.8′ 東経133° 44.6′）
事故等調査の経過	平成25年10月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 盛輝 ^{せいき} 21、498トン
船舶番号、船舶所有者等	134237、園田汽船株式会社
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 左舷船首部外板に凹損、同船首部ハンドレールに曲損 岸壁 なし
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首及び船尾に乗組員を配置し、船首を北東方に向け、約1.5ノットの行きあしで水島港の東鉄岸壁（以下「本件岸壁」という。）に着岸作業中、船長が、右舷錨を投入した後、行きあしが止まらず、岸壁直前で機関を全速力後進にかけ、バウスラスターにより、右回頭したものの、平成25年8月22日06時49分ごろ左舷船首部が本件岸壁に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし、視界 良好 海象：海上 平穏
その他の事項	船長は、船首及び船尾に配置した乗組員から本件岸壁への接近状況を報告させておらず、船首から本件岸壁までの距離を把握していなかった。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、水島港の本件岸壁に着岸作業中、船長が、船首配置の乗組員に船首から本件岸壁までの距離を報告させていなかったことから、岸壁までの距離を把握しておらず、前進の行きあしで接近し、左舷船首部が本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、水島港の本件岸壁に着岸作業中、船長が、船首配置の乗組員に船首から本件岸壁までの距離を報告させていなかった

	<p>ことから、岸壁までの距離を把握しておらず、前進の行きあしで接近し、左舷船首部が本件岸壁に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 着岸する場合は、一旦停止するなどし、早期に後進にかけるなどして行きあしの制御を適切に行うこと。・ 着岸作業中、船体の岸壁への接近状況について、船橋と船首尾配置の乗組員との連絡を密に行い、船体と岸壁との距離を確認すること。